

事務事業及び予算の執行実績(令和5年度分)

一部6年度を含む

静岡県立池新田高等学校

郵便番号 437-1612

住 所 御前崎市池新田2907番地の1

電話番号 0537-86-2460

FAX番号 0537-86-7802

目 次

1	□□□□□□	事務事業の概要	1
2	□□□□□□□□	事務執行の根拠法令調	18
3	□□□□□□	学校施設の概要	19
4	□□□□□□	在籍生徒調	21
5	□□□□□□	入学志願者及び入学者数調	22
6	□□□□□□	卒業生の動向調	23
7	□□□□□□	生徒の状況	25
8	□□□□□□	授業料収納状況調	26
9	□□□□□	職員調	別冊
10	□□□□□□□	職員の年齢調	別冊
11	□□□□□□□	健康管理	別冊
12	□□□□□	歳入予算執行状況調	28
13	□□□□□□□	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	32
14	□□□□□	現金出納調	33
15	□□□□□□□	預金調	33
16	□□□□□□□	郵券等受払調	34
17	□□□□□	歳入歳出外現金調	35
18	□□□□□	歳出予算執行状況調	36
19	□□□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	42
20	□□□□□□□	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	43
21	□□□□□	委託料に関する調	44
22	□□□□□	負担金支出調	48
23	□□□□□	建築工事調	50
24	□□□□□	公有財産調	52
25	□□□□□	借地借家等調	54
26	□□□□□□□	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	56
27	□□□□□	行政財産貸付・使用許可調	57
28	□□□□□	備品・図書調	59
29	□□□□□□□	主要備品調	63
30	□□□□□	公務中の事故等に関する調	64
31	□□□□□	工事中の事故に関する調	65
32	□□□□□	前回の監査結果等改善状況調	65

□□□□□□□

事務事業の概要

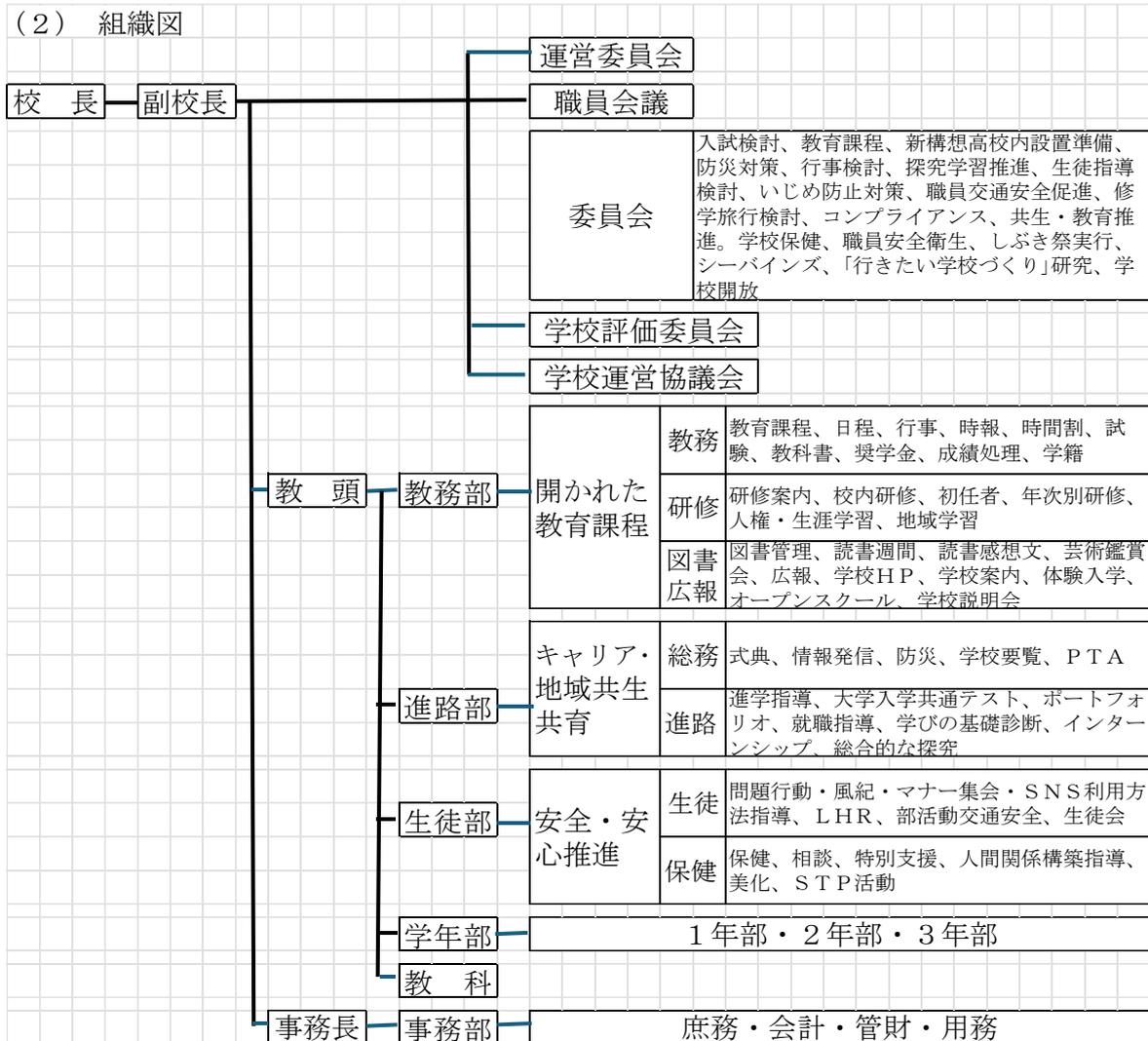
1 概況

(1) 学校の沿革

- 大. 8. 4. 1 笠南農業補習学校として設立認可される。
- 15. 9.10 笠南公民実業学校と改称する。
- 昭. 3. 3.30 笠南公民実業学校を廃止し、池新田村外9か村組合立静岡県池新田農学校として設立認可される。(尋常小卒3年制)
- 11. 3.17 第二種(尋常小卒5年制)併設認可され、従来の課程を第一種と改称する。(両種共生徒定員は50人)
- 15. 1.18 池新田村外22か町村組合立と改組織
- 15. 1.29 第一種を廃止し、1学年2学級、修業年限5年となる。(総定員500人)
- 19. 3.10 女子部(初等科卒4年制)を付設
- 22. 4. 1 県立に移管され、静岡県立池新田農学校と改称
- 23. 4. 1 学制改革により静岡県立池新田高等学校と改称(定員普通科100人、農業科100人)及び新制中学校を併設
- 23. 9. 1 本校定時制課程及び横須賀分校定時制課程の設置
- 25. 3. 1 横須賀分校定時制課程を廃止
- 36. 3.31 本館棟 R C 3階建完成
- 37. 4. 1 生徒定員 全日制課程普通科150人、農業科50人、定時制課程40人
- 38. 4. 1 生徒定員 全日制課程普通科250人、農業科50人、定時制課程は生徒募集停止し、全日制課程のみとなる。
- 39. 4. 1 生徒定員 普通科300人、農業科50人
- 41. 4. 1 生徒定員 普通科350人、農業科募集停止し、普通科のみとなる。
- 43. 4. 1 生徒定員 336人
- 44. 4. 1 生徒定員 329人
- 45. 4. 1 生徒定員 322人
- 46. 3.31 特別教室棟 R C 造4階建第一期工事完成
- 46. 4. 1 生徒定員 315人
- 47. 2.29 特別教室棟 R C 造4階建第二期工事完成
- 48. 3.22 特別教室棟 R C 造4階建第三期工事完成
- 57. 4. 1 生徒定員 270人
- 58. 4. 1 生徒定員 315人
- 62.10.29 特別教室棟 耐震補強工事完成
- 63. 3.30 生徒急増期対策により東館棟(R C 造3階建)完成
- 63. 4. 1 生徒定員 360人
- 平.元. 4. 1 生徒定員 405人
- 4. 4. 1 生徒定員 390人
- 5. 4. 1 生徒定員 378人
- 5.12.10 本館棟 S R C 造5階建 改築工事完成
- 6. 3.22 特別教室棟 増築工事完成
- 6. 3.22 特別教室棟 各階部分改修工事完成
- 6. 4. 1 生徒定員 414人(10学級)
- 7. 4. 1 生徒定員 366人(9学級)
- 8. 4. 1 生徒定員 360人(9学級)

- 13. 4. 1 生徒定員 320人 (8学級)
- 14. 4. 1 生徒定員 280人 (7学級)
- 16. 4. 1 生徒定員 240人 (6学級)
- 18. 4. 1 生徒定員 200人 (5学級)
- 18. 4. 1 特別教室棟2階に袋井養護学校御前崎分校設置
- 23. 4. 1 生徒定員 160人 (4学級)
- 令. 3. 4. 1 生徒定員 120人 (3学級)

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「礼讓」「勤労」「協同」の精神をもって、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、社会人として人生をたくましく切り拓いていくことができる人材を育成する。

- 礼讓…自己中心でなく人に対して思いやりを持ち、親切であり、かつ温かい人間性を有し、住みよい社会をつくる人間の育成
- 勤労…学習および平素の生活において、積極的に考え、行動し、骨身を惜しまず努力する人間の育成
- 協同…自己は社会の一員であることを自覚し、団体生活に適応し、団体の規則を重んじ、自発的に奉仕し、力を合わせて自他の幸福を図る人間の育成

(2) 育てたい生徒像

自ら考え行動し、共創する（仲間と協力し新たな価値を創造する）生徒

(3) 育てたい資質・能力 【池高Three Arrows】

ア 認める力（・変化に気付く・対話する・自分に自信を持つ）

イ 律する力（・計画を立てる・自分を制御する・規律を守る）

ウ やり抜く力（・行動を起こす・継続する・挑戦する）

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和5年度重点目標への取組と評価

ア スクール・ミッション

御前崎市唯一の高等学校として、進学から就職まで生徒の多様な進路希望に対応し、地域の自治体や企業との連携による様々なキャリア教育を通して、自ら考え行動し、地域社会に積極的に参画し共創する人材の育成を目指す。

イ 目指す学校像

スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>●池高スリーアローズの「認める力」・「律する力」・「やり抜く力」を身につけ、主体的に社会を生きる力を育成します。</p> <p>●地域を愛し、地域を理解し、地域社会に貢献しようとする心を持ち、行動できる人を育成します。</p> <p>●他者を尊重し、思いやる心を持ち、仲間と協力して新たな価値を創造し、共生しようとする力を育成します。</p>	<p>●基礎学力の定着とICTを活用した学習を推進するとともに、多様な進路に対応したコース制での専門知識や技術、教養等を習得します。</p> <p>●地域の自治体、企業、学校等との連携した体験的・実践的・探究的な学びを通して、主体的に学びに向かう「学びの機会」をつくり推進します。</p> <p>●授業や部活動、学校行事や地域社会との連携の場を通して、コミュニケーション能力の向上、人間力を高める教育をします。</p>	<p>●校訓「礼譲・勤労・協同」の精神と池高スリーアローズの「認める力」・「律する力」・「やり抜く力」を理解し、自分を成長させるために努力しようとする意欲のある生徒を求めます。</p> <p>●学習活動や学校行事、部活動や地域と連携した活動等に、主体的に粘り強く取り組む意欲のある生徒を求めます。</p> <p>●人との関係性を大切にし、元気で明るく活気に満ちた学校づくりに積極的に参画しようとする生徒を求めます。</p>

スクール・ポリシー具現化の柱

ア【学びに向かう力の涵養】

基礎学力定着とICT利活用、探究的な学習等の推進、学び合いの推進、ファシリテーション能力の育成

イ【人間力の育成】

基本的な生活習慣の確立、池高スリーアローズの「認める力」・「律する力」・「やり抜く力」への理解と推進

ウ【多様な進路への対応】

個に応じた進路相談、3年間を見通した進学・就職指導體制の継続・改善

エ【地域との連携・協働】

地域の自治体や企業、学校、保護者等との連携、キャリア教育の推進、開かれた活力ある学校づくりの推進

オ【自己有用感の育成】自己有用感の育成に向けた様々な場面での「指導と支援」体制の充実、学校行事や部活動、ボランティア活動等の活性化

カ【安全・安全への対応】

人権教育の推進、教育環境の整備、防災・交通等の体制づくりや啓発、教職員の健康維持

キ【今日的な課題等への対応】

働き方改革の推進、同僚性を育む職場環境づくりの推進、広報活動の充実

ウ 取組と評価 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を確立するとともに、生徒の自己肯定感や自己有用感を育成する。	他者の話をしっかりと聴くことができる生徒80%以上	94.6%	A	落ち着いた態度で話を聞いている様子が見られる。良い習慣が身に付いてきていると感じる。
		身だしなみを自ら正す生徒90%以上	94.5%	A	全体的に生徒は自ら身だしなみを整えることができた。継続していきたい。
		自ら挨拶をする生徒90%以上	89.5%	B	概ね挨拶の習慣が身に付いていると感じる。学校全体として気持ちの良い挨拶ができるようにしていきたい。
		自他の人権が尊重されていると実感する生徒90%以上	88.4%	B	多くの生徒は自分が尊重されていることを実感しながら生活できている。全ての生徒が実感できるようにしたい。
		健康や安全に関する高い意識を持つ生徒80%以上	78.9%	B	健康や安全に関して高い意識を持つ生徒が、昨年度と比べて減少した。声かけや意識させる方法を工夫したい。
		朝食摂取率90%以上	89.3%	B	今年度の調査は、自己申告で行ったため、少し低くなった。引きつづき啓発に努めたい。
		欠席率1.5%以下 遅刻率0.8%以下	欠席率 5.1% 遅刻率 1.7%	C	5類移行までのコロナ期間を経て、安易に休む生徒が大幅に増加した。欠席の多い生徒に対する早めのケアを心掛けたい。
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒80%以上	74.2%	B	各種行事において分校生徒とかわる機会が増え、おおむね満足できる状況にある。新たな取組を検討したい。
		読書活動を通して心が豊かになったという生徒80%以上	61.1%	B	全体の数値は低いですが約6割の生徒は達成している。環境を整えているが、実態は厳しい。
		年間5冊以上本を読んだ生徒60%以上	47.7%	B	全体の数値は低いですが約半数の生徒は達成している。環境を整えているが、実態は厳しい。
イ	情報端末を活用した授業等を推進し、ICT教育等を通じて基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ態度を育成する。	自らの意志で学習するようになったと実感する生徒80%以上	45.1%	C	今年度新たに設定した取組。目標値が高すぎたかもしれない。半数近くの生徒が主体的に学習するようになったと考え、十分評価できるのではないかと。
		プロジェクタ等のICT機器を活用した授業を行っている教員80%以上	80.7%	A	一人一台端末としてChromebookを導入してから、ICT機器の活用は年々進んでいる。生徒の成長を促す活用を検討したい。

		成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		観点別評価の実施を通して生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員80%以上	88.5%	A	授業と評価の一体化が進み、着実に授業改善が進んでいる。今後も継続し、生徒の学習改善につなげたい。
イ	情報端末を活用した授業等を推進し、ICT教育等を通じて基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ態度を育成する。	自分の夢や目標を実現するために努力をしている生徒80%以上	72.9%	B	進路意識が高まる2,3年生において肯定意見が多かった。1年生の意識向上をどのように実現するのか工夫が必要である。
		先生は生徒の意見を聞き、引き出そうとしてくれると感じる生徒90%以上	93.7%	A	観点別評価の実施を通して先生方の授業工夫が見受けられている。それが生徒にも響いている結果である。
		授業に意欲的に取り組む生徒90%以上	90.9%	A	先生方の授業改善は着実に進んでいる。生徒の学習改善につなげられる工夫を考えたい。
		各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分行われていると答える生徒90%以上	95.7%	A	費用対効果を十分に検討した上で、生徒にとってより良い行事が実現できた。次年度に向けて行事の精選をしつつ、この目標値を達成し続けていきたい。
		一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行っていると答える生徒80%以上	88.4%	A	昨年より5ポイント上昇しており、進学チューター制や丁寧な就職指導が実を結んでいる。
		生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われると答える生徒80%以上	92.3%	A	担任の指導や生徒会の働きかけにより、生徒が主体的に取り組めるようになった。
		学習支援ボランティア定員充足率100%	100%	A	応募定員は確保することができたが、希望生徒の固定化が課題である。
		池高チャレンジ&サポート事業申請数2件以上	0%	D	1件も申請することができなかった。来年度以降は廃止も含めて検討したい。
ウ	地域の企業や行政等と連携しキャリア教育を推進し、社会の一員としての自覚を持ち、自らの進路を切り拓く力を育成する。	地域探究学習を通じて、地元に対する魅力を発見し働くことにやりがいや喜びを感じたことができた生徒80%以上	80.8%	A	今年度より、1年生の探究の時間において市役所各課の協力を得て、御前崎市について知る機会を多く設けた。また、2年生のインターンシップではライオンズクラブの協力を得て市内企業で実習をした。
		部活動に積極的に参加する生徒の割合80%以上	68.9%	B	前年度から値が下がっている。価値観の多様化や教員不足の影響もあると考えられる。
		年5回以上生徒表彰を行う。	3回	B	各学期の終業式時に実施した。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	学校行事や部活動等を通してたくましい力や豊かな感性を培う。	芸術鑑賞会を通して心が豊かになったという生徒90%以上	93.0%	A	生徒の満足度が高かった。内容の選定に注力したい。
		校内の美化に努める生徒90%以上	93.1%	A	清掃への取組・ごみの持ち帰りはよくできている。ごみの放置をなくすよう継続して指導していきたい。
エ	学校行事や部活動等を通してたくましい力や豊かな感性を培う。	相談室が使いやすいと感じる生徒70%以上	65.8%	B	相談室を利用する生徒の調整を工夫し、使いやすいと感じられる環境づくりや生徒への配慮に努めたい。
		支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っていると感じる教員70%以上	88.4%	A	引き続き情報を各担当で共有し、支援を行っていききたい。
オ	安心で安全して生活できる校内環境整備を行う。	防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒80%以上	80.8%	A	年2回の校内防災訓練を計画・実施することができた。
		地域防災に参加したと答える生徒70%以上	34.9%	B	全校生徒を対象とした目標達成はできなかった。訓練が中止、あるいは参加者が限定されている地域が多かったが、参加可能地域での参加率は60%を超えている。
		いじめが原因となった不登校0件	0件	A	いじめが原因となったものは無いが、人間関係の悩みからの不登校生徒はいた。保健課と相談室の連携を強化し支援したい。
		先生を信頼する生徒70%以上	82.2%	A	前年度同様の水準を達成することができた。今後も指導と支援の両輪を大切にしたい。
		重大な交通事故0件	0件	A	重大な事故はなかったが、交通指導切符を切られる生徒が一定数おり、注意喚起する。
		一日体験入学、オープンスクール、学校説明会での中学生、保護者の満足度90%以上	99.2%	A	過去のアンケート結果をもとに年々改善し、内容を充実させた。来校者からの意見も好評であった。来年度は校内ツアーを改善する。
		施設・整備は安全に整備され使いやすく整備されていると答える生徒の割合80%以上	80.8%	A	日常的点検や委託業者による点検結果に基づき、不具合箇所について危険度・緊急度の高い箇所から修繕を行った。大規模に修繕が必要な箇所は継続的に県への予算要求を行っていく。

		成果目標	達成状況	評価	成果と課題	評価
		P T A 総会出席率 50%以上	46.7%	B	P T A 組織への理解を促す必要と、入会を含めた組織の在り方を検討していく。	
		P T A 活動は活発であると答える保護者・教員70%以上	保護者 87.4% 教員 100%	B	文化祭・マラソン大会はP T A の協力のもと、実施することができた。しかし、縮小していくP T A 活動の現状を見据え、今後の活動のあり方を模索する。	
力	地域に愛される「池高生」、地域と連携・協力する「開かれた活力ある学校づくり」を推進する。	地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の合80%	60.7%	B	毎週の朝清掃や地域交流などに参加する部活動は多いが、目標値に及ばなかった。シーバインズとの連携も視野に入れていきたい。	
		進学後も含め、「将来は地元で地域貢献したいと考える生徒」の割合80%以上	65.8%	C	総合的な探究の時間や、グローバル・ハイスクール事業を通じて地域連携についての行事を行ってきたが、目標値には及ばなかった。学校だけでなく、地域社会全体の問題として捉える必要がある。また、「地元」とはどこまでの範囲を指すのか、「地域貢献」の具体例が生徒にとって理解し辛いことも影響しているのではないかと。	
		本校の広報活動等が学校選択の際の参考となったと答える新入生80%以上	76.5%	B	学校生活を紹介する学校H P の更新や池高 TIMES の発行等により一定の効果を上げている。一日体験入学やオープンスクール、学校説明会も好評であった。	
		監査指摘事項0件	0件	A	監査における指摘事項は0件で、適正に事務処理が行われた。事務の適正執行に努めていく。	
		職員室施錠時間 20時30分以前	平均施錠時刻 20時50分 (8月を除く)	B	昨年度よりも退勤時間が18分程度遅くなった。働き方改革を一層推進し、職員の健康管理に留意する必要がある。	
		県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	ストレス値 県平均86 本校 81 (全国平均100)	A	すべての項目について県平均か、それ以上であった。今後一層個別の教職員の勤務状況の把握に努める。	

(2) 令和6年度取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基礎学力定着とICT利活用、探究的な学習等の推進、学び合いの推進、フシリテーション能力の育成	基礎学力の定着に向けた学びの基礎診断等の効果的な運用 授業におけるICT利活用の推進 観点別評価の実施を通じた授業改善の推進	・中学時と比べて基礎学力が向上したと実感する生徒80%以上 ・プロジェクタ等のICT機器を活用した授業を行っている教員80%以上 ・学び合いの機会を設ける等の生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員80%以上	教務
		生徒の対話力が向上し、学び合いの中で生徒が夢や目標を持ち、目標達成に向けて行動できる教育活動を推進	・学校の行事や活動は、生徒のアイデアを活かして運営されている生徒90%以上 ・先生は、私の気持ちや思いを良く受け止めてくれる生徒80%以上	研修
			・私たちのクラスは、話し合い活動では、誰でも進んで意見を発表することができる生徒80%以上	
		心に響く図書を選定と読書感想文の実施	・読書活動を通して心が豊かになったという生徒70%以上 ・年間5冊以上本を読んだ生徒50%以上	図書広報
イ	基本的な生活習慣の確立、池高スリーアローズの「認める力」・「律する力」・「やり抜く力」への理解と推進	自ら考え状況に応じた適切な行動ができるマナー指導の実施 身だしなみ指導、マナー集会の実施 自他の人権を尊重した適切な思考や行動ができる人権・道徳指導の実施	・他者の話をしっかりと聴くことができる生徒80%以上 ・身だしなみを自ら正す生徒90%以上 ・自ら挨拶をする生徒90%以上 ・自他の人権が尊重されていると実感する生徒90%以上	生徒
		保健だよりの発行、薬学講座の実施 生活習慣アンケート実施	・健康や安全に関する高い意識を持つ生徒80%以上 ・朝食摂取率90%以上	保健
		登校し授業に参加する意義を考える機会の充実 行事等を通じた共生共育の推進	・登校し授業に参加することの大切さを理解し、欠席・遅刻・早退を減らすように心掛けている生徒80%以上 ・共生共育から学ぶことが多いと実感する生徒80%以上	教務
ウ	個に応じた進路相談、3年間を見通した進学・就職指導体制の継続・改善	様々な進学先や職業を体験・考える機会の設置 進路閲覧室の充実 進路希望に応じた各種ガイダンスの実施 4年制大学・看護進学希望者の教科別指導の実施 3年進路合同会議（検討会） 進路指導員による面接指導の実施	・各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分に行われていると答える生徒90%以上 ・一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行われていると答える生徒80%以上	進路

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	地域の自治体や企業、学校保護者等との連携、キャリア教育の推進、開かれた活力ある学校づくりの推進	御前崎市役所・商工会と連携しての地域探究『シアワセライカイギ』の実施 地元企業の協力を得て、2年生就職希望者に『インターンシップ』実施	・地域探究活動を通じて、地元に対する魅力を発見し、働くことにやりがいや喜びを感じることができたと答えた生徒が 80% 以上	進路
		P T A 総会の日程等を工夫 しぶき祭や砂丘マラソン大会で支援活動を実施	・PTA 総会出席率 50 %以上 ・PTA 活動は生徒のためになっていると答える保護者・教員70 %以上	総務
オ	自己有用感の育成に向けた様々な場面での「指導と支援」体制の充実、学校行事や部活動、ボランティア活動等の活性化	クラスや学年を越えた異年齢集団での活動を通じ、豊かな人間性や社会性を育成 スクールカウンセリングの実施 池高職員、スクールカウンセラー、分校職員や出身中学校と連携し、問題を抱えた生徒のチーム支援を実施 清掃活動の実施	・部活動に積極的に参加する生徒の割合 70 %以上 ・相談室が利用しやすいと感じる生徒 70 %以上 ・支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っていると感じる教員 70 %以上 ・校内の環境美化に務める生徒90%以上	生徒 保健
		地域学習支援ボランティアへ生徒派遣 地域清掃活動やボランティアへの参加 生徒の主体的な運営によるしぶき祭、体育大会の実施 豊かな感性を培う芸術鑑賞会の実施	・学習支援ボランティア定員充足率 100% ・地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の割合 80% ・生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われていると答える生徒 80 %以上 ・芸術鑑賞会を通して心が豊かになったという生徒 90 %以上	総務 生徒 生徒 図書広報
		いじめ防止対策委員会を活用し組織的な早期対応 交通安全教室の実施	・いじめが原因となった不登校0件 ・先生を信頼する生徒70 %以上 ・重大な交通事故0件	生徒
		施設・設備等の現状を把握、安全安心な教育環境の維持管理のため、効果的な予算執行に努める	・施設・設備は安全に管理され使いやすく整備されていると答える生徒の割合 80 %以上	事務
		災害時の対応力養成のため、防災訓練(抜き打ち避難訓練・体験学習等)を実施 地域防災訓練への参加を促し、参加状況を把握	・防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒 80 %以上 ・地域防災訓練に参加したと答える生徒 60 %以上	総務
カ	人権教育の推進、教育環境の整備、防災・交通等の体制づくりや啓発、教職員の健康維持			

	取組目標	成果目標	達成状況	評価
キ	働き方改革の推進、同僚性を育む職場環境づくりの推進、広報活動の充実	管理職・運営委員による近隣中学校への訪問等を年3回以上	・本校の広報活動等が学校選択の際の参考となったと答える新入生80%以上	管理職
		業務の進捗状況を職員間で情報共有し、会計書類等は複数によるチェックの実践 「学校における働き方改革」への組織的な取組	・監査指摘事項 0件 ・職員室施錠時間 20時30分以前 ・県実施調査のストレス値(学校全体)が県の平均値を下回る	事務 管理職
		業務の進捗状況を職員間で情報共有し、会計書類等は複数によるチェックの実践 「学校における働き方改革」への組織的な取組 学校・学年行事、部活動の状況、連絡事項をホームページに掲載し、教育活動を広報池高TIMES 年5回発行・配布	・一日体験入学、オープンスクール、学校説明会での中学生、保護者の満足度 90 %以上	図書広報

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和5年度	チケッ制度等を取り入れた身だしなみ指導、マナー集会（年3回）を実施し、生徒の生活習慣の確立、規範意識の高揚を図る。	罰則的なチケットだけでなくグリーンカード(善行チケット制度)も併せて発行している。グリーンカードが発行された生徒を学年集会等で表彰し、生徒の規範意識の高揚につなげている。様々な場面で教員は生徒をよく観察、生徒の特性や実情をよく承知しているため、きめ細やかな生徒指導ができた。
	女子制服にスラックスを導入	LGBTQ等への対応を視野に入れ、女子制服にスラックスを導入し、複数の女子生徒が購入した。校内では違和感なく過ごしている。
	掛川特別支援学校御前崎分校の生徒との交流により、共生・共育、特別支援教育の推進を図る。	文化祭、体育大会、マラソン大会等を、御前崎分校と連携してで実施した。またプランターの植え替えや工芸品の制作など、行事以外での交流を行い、共生・共育の機会を多く作り相互理解が深まった。
	授業の中で学び直しに取り組み、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図るとともに進路実現に必要な学力を身に付ける。	リクルート社のeラーニング「スタディサプリ」を導入し、これを活用したコンテストや到達度テストを実施した。スマホ等で自学自習をする教材であるが、積極的に取り組む生徒がいる一方で意欲的でない生徒もいたのが課題である。
	入学当初から進路に対する意識を高めさせるため、チャレンジ講座、会社見学等により自分の将来の職業について考える機会を作り、インターンシップへの積極的な参加を勧め、進路実現に向けて努力する姿勢を育成する。	1年次から就職・進学を意識させるために、チャレンジ講座等を定期的実施した。特に2年生は夏季休業中に地元企業へインターンシップ又はオープンキャンパスに行くことが、進路意識を高めるよい機会となっている。生徒が目的意識を持って参加できるよう、事前指導による意識づけを図った。
	グローバル・ハイスクールの指定校として、地域企業等と連携し就業体験の実施等による授業の充実と単位認定の研究を行う。	地元企業等の協力を得て、企業見学や就業体験を実施することで、地域の産業を知るとともに、将来の自分の進路を考える機会となった。地元企業との連携を強め単位認定に向けての研究を行った。
	地域貢献活動を実施し、学校周辺の環境を整えると共に地域に根差した学校であるという意識を高める。	地域貢献活動グループ「シーバインズ」による定期的な地域清掃や福祉団体とのボランティア活動、地元中学生との交流会の開催など、生徒主体の活動ができた。また有志部活動による朝の近隣清掃活動、地域住民主催の浜岡砂丘の清掃活動等に多くの生徒が参加した。こうした活動を通して地域に根差した学校としての意識が向上した。
	御前崎市スクラム・スクール・プラン（幼稚園から高校までを一つの学校と捉え地域住民も参画しながらとぎれのない教育を目指す）と連携し、小・中学校の授業参観などを通して授業内容の改善を図る。	授業公開の期間を設け、地域の小中学校の教員、近隣の市教育委員会に参観してもらい、いただいた意見は授業改善の参考となった。中学校の公開授業にも参加し高校の授業への接続についての参考とした。また、御前崎市全体での月1回の挨拶運動にも参加した。
	1、2年生にChromebookを1人1台購入させ、ICTを活用した授業を実施する。	1、2年生に1人1台のChromebookを持たせ、授業等で活用するよう取り組んだ。教員もChromebookの様々な機能を使って工夫した授業を展開している。ネット上のセキュリティに関する注意以外は比較的自由に使わせて、授業や家庭で使用することが習慣化されつつある。

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	チケット制度等を取り入れた身だしなみ指導、マナー集会（年3回）、を実施し、生徒の生活習慣の確立、規範意識の高揚を図る。	罰則的なチケットだけでなくグリーンカード(善行チケット制度)も併せて発行している。グリーンカードをたくさん持つ生徒を学年集会等で表彰する等して、生徒の規範意識の高揚につなげている。
	女子制服にスラックスを導入	LGBTQ等への対応を視野に入れ、女子制服にスラックスを導入、購入する女子生徒は増加している。
	掛川特別支援学校御前崎分校の生徒との交流により、共生・共育、特別支援教育の推進を図る。	文化祭、体育大会、マラソン大会等を、御前崎分校と連携を密に共同で実施した。分校の生徒の授業に本校生徒が参加し、作業内容を教わりながら工芸品等を作成する授業交流に1年生の全クラスの生徒が参加した。
	授業の中で学び直しに取り組み、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図るとともに進路実現に必要な学力を身に付ける。	リクルート社のeラーニング「スタディサプリ」を導入し、これを活用したコンテストや到達度テストを実施した。極的に取り組む生徒がいる一方で意欲的でない生徒もいる。効果的に活用できるよう図っていく。
	入学当初から進路に対する意識を高めさせるため、チャレンジ講座、会社見学等により自分の将来の職業について考える機会を作り、インターンシップへの積極的な参加を勧め、進路実現に向けて努力する姿勢を育成する。	1年次から就職・進学を意識させるために、チャレンジ講座等を定期的の実施した。特に2年生は夏季休業中に地元企業へインターンシップに行き、就労体験をすることが、職業意識を高めるよい機会となっている。生徒が目的意識を持って参加できるよう、事前指導による意識づけを図っていく。
	「行きたい学校づくり」推進事業の指定校として、地域企業や御前崎市役所と連携し、探究活動を行う。	地元企業や御前崎市役所の協力を得て、1年次から探究活動を行うことで、地域の産業を知るとともに、将来の自分の進路を考える機会となった。
	地域美化運動を実施し、学校周辺の環境を整える意識を高める。	有志部活動による朝の近隣清掃活動を継続して実施している。また、地域住民主催の浜岡砂丘の清掃活動にも生徒会や有志部活動が参加。こうした活動を通して地域の学校として協働していく。
	御前崎市スクラム・スクール・プラン（幼稚園から高校までを一つの学校と捉え地域住民も参画しながらとぎれのない教育を目指す）と連携し、小・中学校の授業参観などを通して授業内容の改善を図る。	池新田高校の教諭が中学校で英語、数学の授業を行い、交流を図った。学齢に応じた指導方法を学ぶ機会となった。また、授業公開の期間を設け、地域の小中学校の教員、近隣の市教育委員会に参観してもらい、いただいた意見は授業改善の参考となった。
	1年生にChromebookを1人1台購入させ、ICTを活用した授業を実施する。	1年生に1人1台のChromebookを持たせ、授業等で活用するよう取り組んだ。教員側もChromebookを使って何ができるのか、手探りのところもあるが、ネット上のセキュリティに関する注意以外は比較的自由に使わせて、授業で使用することが当たり前になるよう図っていく。

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分	職名	本務職員										臨時的任用・ 会計年度任用職員						合計	
		教育職員						行政職員				本務計	会計年度任用職員						
		校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任技能員		小計	非常勤講師(会)	非常勤嘱託員(会)	非常勤労務職員(会)	部活動指導員		A L T
転出者				△ 7			△ 7				0	△ 7						0	△ 7
退職者							0				0	0	△ 2					△ 2	△ 2
再任用 (退職)							0				0	0						0	0
転入者				4			4				0	4						0	4
新任者							0				0	0	2					2	2
再任用 (新任)							0				0	0						0	0
差引増減	0	0	0	△ 3	0	0	△ 3	0	0	0	0	△ 3	0	0	0	0	0	0	△ 3

(2) 現員数 (令和7年4月1日現在)

(単位：人)

職 区分	本務職員											臨時的任用・会計年度任用職員						合計			
	教育職員						行政職員				本務計	会計年度任用職員									
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任技能員		小計	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	部活動指導員		A L T	臨時計	
男	1	1	1	13			16	1		1	2	18		4				1		5	23
女				8	1	1	10		2		2	12		6		1		1		8	20
計	1	1	1	21	1	1	26	1	2	1	4	30	0	10	0	1	1	1	13	43	

(3) 健康管理について

ア 令和5年度

◇安全衛生委員会の実績

5年 4月28日	令和5年度の年間計画について
5年 5月30日	職場環境の現状把握
5年 6月29日	メンタルヘルスと働き方全般について
5年 7月19日	夏季における健康対策について
5年 8月30日	特別支援研修伝達事項の報告、敷地内安全点検
5年 9月27日	職場環境・準備室の現状と対策（準備室整理整頓）
5年 10月27日	メンタルヘルス講習会の実施準備、アンケート調査

5年 11月30日	職員健康診断の受診状況報告
5年 12月19日	職場の健康づくり支援事業の実施。感染症対策
6年 1月26日	教職員ストレスチェック結果の概要について委員内で共有
6年 2月 20日	執務環境整備について、次年度の改善に向け委員内で共有
6年 3月 15日	今年度の反省と課題を整理

◇健康管理医の活動状況

5年 11月 1日	インフルエンザ予防対策指示
5年 11月 8日	インフルエンザ予防接種（希望者に実施）
6年 2月 6日	健康診断結果報告①
6年 2月12日	健康診断結果報告②
6年 2月29日	健康診断結果報告③
6年 3月 4日	健康診断結果報告④
6年 3月27日	今年度の反省と次年度について

イ 令和6年度

◇安全衛生委員会の実績

6年 4月30日	令和6年度の年間計画について
6年 5月31日	職場環境の状況把握・引継事項の確認
6年 6月26日	メンタルヘルスと働き方全般について
6年 7月19日	夏季における健康対策について
6年 8月30日	職場環境（職員室）の現状と対策、敷地内安全点検
6年 9月30日	職場環境（準備室・その他）の現状と対策
6年10月31日	メンタルヘルス講習会の実施準備、アンケート調査
6年11月28日	職員健康診断の実施状況の報告
6年12月17日	職場の健康づくり支援事業の実施、感染症対策
7年 1月30日	職場環境の現況確認と改善

◇健康管理医の活動状況

6年 11月 1日	インフルエンザ予防対策指示
6年 11月 8日	インフルエンザ予防接種（希望者に実施）
7年 2月13日	健康診断結果確認
7年 2月28日	健康診断管理指導区分指導助言
7年 3月28日	今年度の反省と次年度について

(4) 教職員の研修について

ア 令和5年度

(ア) 目標

生徒の学ぶ意欲が向上するためのファシリテーションスキルを活かした授業実践
(授業力向上)

(イ) 取組内容及び成果

a 校内研修

- ・第1回 令和5年4月6日(木)

テーマ 教育ファシリテーション力の向上
～生徒の「したい」を引き出す①～

内容 NPO法人わかものまちな事務所事務局長である土肥潤也氏を講師として招聘し、講義・実習を行った。教員が、生徒の意欲を引き出すファシリテーション力を身に付け実践できることを目標とし、そのスキルやマインドを身に付けることができた。

- ・第2回 令和5年8月28日(月)

テーマ 教育ファシリテーション力の向上
～生徒の「したい」を引き出す②～

内容 第1回目と同様に、NPO法人わかものまちな事務所事務局長である土肥潤也氏を講師として招聘し、講義・実習を行った。今回は、より実践的な力を身に付けるため、ファシリテーション力チェックのグループワークを行ったり、実際に起きたことをロールプレイしたりする中で学びを得た。

- ・第3回 令和5年11月10日(金)

テーマ 定期訪問研修「教育ファシリテーション力の向上」

内容 第1・2回と同様に、NPO法人わかものまちな事務所事務局長である土肥潤也氏を講師として招聘し、講義・実習を行った。1年間の総まとめとして、OJTチームの中で、これまで得た学びの振り返りを行った。今後も、教育ファシリテーション力を活かした授業実践を通して、生徒が夢や目標を持ち目標達成に向けて主体的に行動できるようになるよう支援することを確認した。

b 授業公開週間 第一回 令和5年6月19日(月)～23日(金)

第二回 令和5年11月6日(月)～10日(金)

今年度は2回の授業公開週間を実施した。新型コロナウイルス感染症による入場者の制限をすることなく実施したが、感染拡大する等はなく、参観頂くことができた。

c アンケートの実施

12月に、生徒に向けて「アセスメントアンケート」を実施し、本校の教育活動についての意識変容について分析した。結果については、学校改善を促す「効果ある指導」の組織的展開Ⅰ、Ⅱの研修及び職員会議にて情報開示、共有を図った。

d その他の研修

- ・職員ミニ研修

日時 令和5年11月30日(木)、令和6年1月26日(金)

内容 静岡大学教育学部准教授塩田真吾氏の提唱するカード比較分類法を用いた研修を行った。11月には不祥事根絶研修、1月はアンガーマネジメント研修として行った。それぞれ、自分事としてとらえてもらう研修となった。

e 成果

教育ファシリテーション力の向上をスローガンに、1年を通じた研修を実践できた。その結果、非常に多くの教員が「ファシリテーション力の向上」を意識し、教育活動

にあたることができた。また、一人一台端末（Chromebook）の導入2年目であり、1・2年生が端末を持っている状況のなか、学校全体でICT活用とファシリテーションを両輪として推進することができた。このことは、生徒の成長に対して一定の成果を上げた。

昨年度に引き続き、教員チームとして研修への意欲が高く、研修ごとに行うグループワークでは活発な議論が行われた。アセスメントアンケートにおいても狙っている変化をデータ上でも確認することができた。

(ウ) 課題

ファシリテーションスキル・マインドの導入年度としては一定の成果を上げたが、今後これが本校の教育文化として根付くためには継続的な実施や教員が自分事としてとらえ続ける工夫・仕組みが必要である。

6 防災対策について

(1) 令和5年度

ア 目標

生徒の安全指導と地震防災を中心に、災害管理体制の徹底を期して事前措置を施し、地震、火災、その他の災害が発生した場合の物的・人的被害の軽減を図るために、定期検査と防災訓練を実施する。災害発生時は、被害を最小限に食い止めるために、防災計画に則って防災体制を構築する。

イ 取組内容及び成果

地震・津波及び火災発生時における対応に関する訓練を計3回実施(計画)した。第1回目は、地震を想定した避難訓練を実施した。抜き打ちで行うことで緊張感のある実践的な訓練となった。第2回目は御前崎消防署、御前崎市危機管理課の協力を得て、消防署員指導によるスモークハウス体験(3年生)及び、危機管理課職員による起震車体験訓練(2年生)、原子力防災講話(1年生)を行った。スモークハウス体験では、生徒が実際に煙の中での移動を体験することで実践的な訓練となった。起震車体験では、学年数名の代表者が南海トラフ地震を想定した震度を体験することができた。原子力防災訓練では、実際に事故が発生した際の避難経路や避難場所を確認することができた。第3回目は、津波(地震)を想定した避難訓練(抜き打ち)を実施した。

ウ 課題

本校は遠州灘海岸から約3kmに立地しており、また、浜岡原子力発電所も近くにあるため、大地震の際には、津波や原子力災害などが併発する可能性が高い。そのような災害にも対応できる訓練を模索したい。

(2) 令和6年度

ア 目標

生徒の安全指導と火災予防を中心に、災害管理体制の徹底を期して事前措置を施し、万一火災や地震、その他の災害が発生した場合の物的・人的被害の軽減を図るために、定期検査と防災訓練を実施する。災害発生時は、被害を最小限に食い止めるために、防災計画に則って防災体制を構築する。

イ 取組内容及び成果

地震・津波及び火災発生時における対応に関する訓練を3回計画(実施)した。第1回目は、地震を想定した避難訓練を掛川特別支援学校御前崎分校と協同して実施した。抜き打ちで行うことで緊張感のある実践的な訓練となった。第2回目は御前崎消防署、御前崎市危機管理課の協力を得て、消防署員指導によるスモークハウス体験(3年生)及び、危機管理課職員による起震車体験訓練(2年生)、原子力防災講話(1年生)を行った。スモークハウス体験では、生徒が実際に煙の中での移動を体験することで実践的な訓練となった。起震車体験では、学年数名の代表者が南海トラフ地震を想定した震度を体験することができ

た。いずれも掛川特別支援学校御前崎分校と協同して行った。原子力防災訓練では、実際に事故が発生した際の避難経路や避難場所を確認することができた。第3回目は、今年度ふじのくに防災人材育成事業「被災地訪問研修」に参加した本校生徒2名が報告をし、全校生徒の防災意識を高めた。また津波(地震)を想定した5階への避難訓練も実施した。点呼方法や津波発生時の避難経路、避難場所を確認することができた。

ウ 課題

地震だけでなく津波や原子力災害などにも対応できる校内組織を機能させ、そのための訓練を工夫したい。

7 学校開放について

地域住民に体育館等を開放した。今後も継続して、一層の利用促進を図る。

令和6年度施設開放状況

施設名	利用種目	開放日数	利用者数	団体数
体育館	バスケットボール	82日	918人	4
	バレーボール	39日	603人	2
	サッカー	4日	91人	1
運動場	サッカー	12日	276人	1
計		137日	1,888人	7
利用者負担金		電気料	59,213円	

※ サッカーの体育館と運動場は同じ団体。

□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

□□□□□□□□

項 目	根拠法令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条）
2 学校の管理・運営に関すること	静岡県立学校処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 理科教育振興法 理科教育振興法施行令 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県高等学校等教育資金及び静岡県高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例 静岡県情報公開条例施行規則 社会教育法（第43条、45条、47条）

学校施設の概要

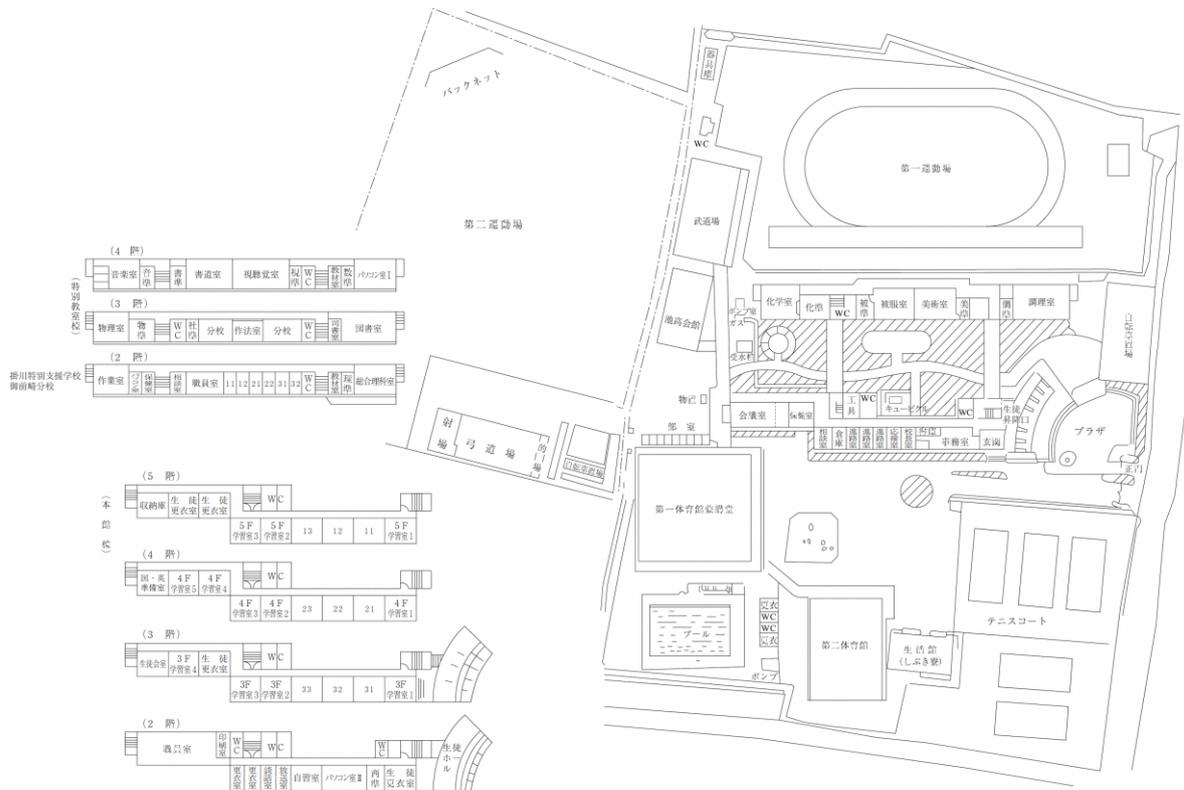
1 面積及び所有区分

(令和7年1月31日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	47,482.13	42,992.13			4,490.00		
内 訳	校舎敷地	22,123.59	18,428.59		3,695.00		
	運動場敷地	25,358.54	24,563.54		795.00		
	そ の 他 の 敷 地						
実 習 地							
内 訳	田						
	畑						
	茶 園						
	果 樹 園						
演 習 林							
校 舎	建 2,622.02	2,622.02					
	延 9,699.45	9,699.45					
体 育 館	建 2,850.13	2,500.13			350.00		
	延 3,066.57	2,503.77			562.80		
武 道 場	建 508.33	508.33					
	延 508.33	508.33					
その他の建物	建 1,227.33	1,227.33					
	延 1,227.33	1,227.33					
寄 宿 舎	建 延						
生 活 館	建 238.80				238.80		
	延 475.40				475.40		
プ ー ル	843.85	843.85					25m 8コース
職 員 住 宅	0戸	0戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	47,482.13m ²	9,699.45m ²	25,358.54m ²
県平均	45,574.48m ²	9,807.98m ²	22,506.84m ²

□□□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年1月31日現在)

学年	学科別 区分		普 通 科			
			定員	男子	女子	計
1年	入 学 者		120	74	23	97
	R 6	増 加		0	0	0
		減 少		1	1	2
	現 在			73	22	95
2年	入 学 者		120	69	49	118
	R 5	増 加		1	0	1
		減 少		6	4	10
	2年時当初			64	45	109
	R 6	増 加		0	0	0
		減 少		2	1	3
現 在			62	44	106	
3年	入 学 者		120	54	59	113
	R 4	増 加		0	0	0
		減 少		5	3	8
	2年時当初			49	56	105
	R 5	増 加		0	1	1
		減 少		3	2	5
	3年時当初			46	55	101
	R 6	増 加		0	0	0
減 少			0	1	1	
現 在			46	54	100	
合 計				181	120	301

□□□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		120	120	120	120	120
募集者数 (B)		120	120	120	120	120
志願者数	男	68 (0)	56 (0)	70 (2)	76 (1)	65 (2)
	女	59 (0)	59 (0)	50 (0)	26 (0)	45 (1)
	計 (C)	127 (0)	115 (0)	120 (2)	102 (1)	110 (3)
受検者数	男	68 (0)	55 (0)	69 (2)	75 (1)	65 (2)
	女	58 (0)	59 (0)	50 (0)	25 (0)	45 (1)
	計 (D)	126 (0)	114 (0)	119 (2)	100 (1)	110 (3)
合格者数	男	65 (0)	54 (0)	69 (2)	74 (1)	65 (2)
	女	58 (0)	59 (0)	49 (0)	25 (0)	45 (1)
	計 (D)	123 (0)	113 (0)	118 (2)	99 (1)	110 (3)
志願倍率 (C) / (B)		1.06	0.96	0.98	0.84	0.89
受検倍率 (D) / (B)		1.05	0.95	0.98	0.83	0.89
入学者数	男	65	54	69	74	65
	女	58	59	49	23	45
	計 (F)	123	113	118	97	110
充足率 (F) / (A)		1.03	0.94	0.98	0.81	0.92

□□□□□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
卒業生徒数		105	105	100	
内 訳	(進学志願者)	(37)	(50)	(41)	
	進 学 者	大学・短大	12	25	8
		専修・各種学校	25	25	33
		小計	37	50	41
	就職者		64	55	57
	自営者		0	0	0
	進学準備者		1	0	0
	その他		3	0	2
合 計		105	105	100	

2 求人状況 (全日制のみ)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年1月末
就職希望者数	68	65	58	57
求人数	267	320	344	360
求人倍率	3.9	4.9	5.9	6.3

□□□□□□□

3 資格取得状況

学 科 別		(令和6年度) 全日制普通科	
卒業生徒数		100	
資 格 の 取 得 状 況 (種 類 別)	実用英語検定	1 級	
		準1 級	
		2 級	
		準2 級	2
	実用数学技能検定	2 級	
		準2 級	
	全商簿記検定	2 級	1
		3 級	1 8
	日商簿記検定	3 級	1
	日本語ワープロ検定	1 級	
		準1 級	2
		2 級	4
		準2 級	1 2
		3 級	1 4
	情報処理技能検定 (表計算)	1 級	1
		準1 級	1 7
		2 級	
		準2 級	1 8
	文章入力スピード認定試験 (日本語)	準2 級	1
		3 級	
	ホームページ作成検定	4 級	
	文書デザイン検定	3 級	
		1 級	1 9
	プレゼンテーション作成検定	2 級	
		1 級	
	日本漢字能力検定	2 級	1
		準2 級	4
3 級		2 4	
4 級		5	
食物調理技術検定	3 級	4	
	4 級	1 1	
保育技術検定	3 級		
	4 級	9	
普通救命講習 I		4	
バッジテスト	5 級	4	
合 計		1 7 9	

□□□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

市町名	御前崎市	菊川市	掛川市	その他	合計
生徒数	166	96	26	13	301
構成比%	55.2%	31.9%	8.6%	4.3%	100%

(2) 通学方法 (令和7年1月31日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	自転車とバス	バス	JRとバス	その他	合計
生徒数	52	130	18	43	4	54	301
構成比%	17.3%	43.2%	6.0%	14.3%	1.3%	17.9%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年1月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		9	7		16
男子	1年	47	26	0	73
	2年	28	17	17	62
	3年	26	14	6	46
	計(A)	101	57	23	181
	構成比	55.8%	31.5%	12.7%	100%
女子	1年	7	15	0	22
	2年	9	21	14	44
	3年	16	18	20	54
	計(B)	32	54	34	120
	構成比	26.7%	45.0%	28.3%	100%
合計	(A+B)	133	111	57	301
	構成比	44.2%	36.9%	18.9%	100%

□□□□□□□□

(全日制)

授業料収納状況調

(令和5年度)

期 月 別	調定の状況										収納の状況				異動者等の状況
	1年		2年		3年		4年		計		納期内収納額		納期後	収入	
	人	調定額	人	調定額	人	調定額	人	調定額	人	調定額	円	%	円	円	
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円				A. 期首収納権利発生額=445,500円 (13人×9,900×3月) (3人×9,900×2月) ※3名(1年1名、3年2名)は 6月から支援金認定。 B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=445,500円 5.7.1就学支援金新規認定 1年 ▲1人 2年 ▲3人 3年 ▲1人 5.7.1就学支援金不認定 1年 2人 2年 2人 3年 1人
	5														
	6														
	7	3	79,200	8	237,600	5	128,700			16	445,500	445,500	100.0		
	計	3	79,200	8	237,600	5	128,700			16	445,500	445,500	100.0	0	
二 期	7														A. 期首収納権利発生額=643,500円 (13人×9,900×5月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=643,500円
	8														
	9														
	10	3	148,500	7	346,500	3	148,500			13	643,500	643,500	100.0		
	11														
	計	3	148,500	7	346,500	3	148,500			13	643,500	643,500	100.0	0	
三 期	12														A. 期首収納権利発生額=514,800円 (13人×9,900×4月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=514,800円
	1	3	118,800	7	277,200	3	118,800			13	514,800	475,200	92.3	39,600	
	2												39,600		
	3														
	計	3	118,800	7	277,200	3	118,800			13	514,800	475,200	92.3	39,600	
合計	9	346,500	22	861,300	11	396,000			42	1,603,800	1,564,200	97.5	39,600	0	D. 収納必要額=1,603,800円

□□□□□□□

(全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

期	月	調定の状況										収納の状況				異動者等の状況
		1年		2年		3年		4年		計		納期内収納額		納期後	収	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	率	収納額	未済額	入	
一	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額=475,200円 (16人×9,900×3月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=475,200円 6.7.1就学支援金新規認定 1年 ▲0人 2年 ▲1人 3年 ▲2人 6.7.1就学支援金認定保留者 1年 1人 6.7.1就学支援金不認定 1年 3人 2年 2人 3年 1人
	5															
	6															
	7	6	178,200	3	89,100	7	207,900			16	475,200	475,200	100.0			
	11															
	計	6	178,200	3	89,100	7	207,900			16	475,200	475,200	100.0	0	0	
二	7														A. 期首収納権利発生額=980,100円 (19人×9,900×5月) (1人×9,900×4月) B. 収納権利増減(▲)額=49,500円 6.10就学支援金保留→認定へ (▲1人×9,900×5月) C. 収納必要額A(±)B=930,600円	
	8															
	9															
	10	10	485,100	4	198,000	6	297,000			20	980,100	980,100	100.0			
	11	▲1	49,500							▲1	49,500	▲49,500				
	計	9	435,600	4	198,000	6	297,000			19	930,600	930,600	100.0	0		0
三	12														A. 期首収納権利発生額=712,800円 (18人×9,900×4月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=712,800円	
	1	8	316,800	4	158,400	6	237,600			18	712,800	673,200	94.4			39,600
	2													39,600		
	3															
	計	8	316,800	4	158,400	6	237,600			18	712,800	673,200	94.4	39,600		0
合計		23	930,600	11	445,500	19	742,500			53	2,118,600	2,079,000	98.1	39,600	0	D. 収納必要額=2,118,600円

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	39,100,200	39,060,600	39,600
項 01使用料	38,409,900	38,370,300	39,600
目 08教育使用料	38,409,900	38,370,300	39,600
02全日制高等学校授業料	38,372,400	38,332,800	39,600
08庁舎等使用料	37,500	37,500	0
項 02手数料	690,300	690,300	0
目 07教育手数料	690,300	690,300	0
01高等学校入学科	678,000	678,000	0
02証明書発行手数料	12,300	12,300	0
款 10財産収入	1,791,900	1,791,900	0
項 01財産運用収入	1,791,900	1,791,900	0
目 01財産貸付収入	1,791,900	1,791,900	0
03建物貸付料	1,791,900	1,791,900	0
款 14諸収入	602,227	595,222	7,005
項 07雑入	602,227	595,222	7,005
目 02雑入	602,227	595,222	7,005
81保険料負担金	376,142	376,142	0
非常勤職員	326,732	326,732	0
臨時職員	49,410	49,410	0
84雑収	226,085	219,080	7,005
計	41,494,327	41,447,722	46,605



歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	36,708,250	36,668,650	0
項 01使用料	36,142,800	36,103,200	0
目 09教育使用料	36,142,800	36,103,200	0
02全日制高等学校授業料	36,105,300	36,065,700	0
08庁舎等使用料	37,500	37,500	0
項 02手数料	565,450	565,450	0
目 07教育手数料	565,450	565,450	0
01高等学校入学料	548,050	548,050	0
02証明書発行手数料	17,400	17,400	0
款 10財産収入	1,791,900	1,791,900	0
項 01財産運用収入	1,791,900	1,791,900	0
目 01財産貸付収入	1,791,900	1,791,900	0
03建物貸付料	1,791,900	1,791,900	0
款 14諸収入	353,177	351,414	1,763
項 07雑入	353,177	351,414	1,763
目 02雑入	353,177	351,414	1,763
87保険料負担金	215,031	215,031	0
非常勤職員	215,031	215,031	0
90雑収	138,146	136,383	1,763
計	38,853,327	38,811,964	1,763

執 行 状 況 調

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	39,600	0	39,600	99.8	99.8
0	39,600	0	39,600	99.8	99.8
0	39,600	0	39,600	99.8	99.8
0	39,600	0	39,600	99.8	99.8
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	99.5
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.7
0	39,600	0	39,600	99.8	99.8

□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度（令和 7 年 1 月 31 日 現 在）
	件 数	件 数
入学検定料	1 0 5	0



現金出納調

(令和 5年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 690,300	円 690,300	円 690,300	円 0	円 690,300 155 枚	円 690,300 37 枚
計	0	690,300	690,300	690,300	0	690,300 155 枚	690,300 37 枚

現金出納調

(令和 6年度)

(令和 7年 1月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 565,450	円 565,450	円 565,450	円 0	円 565,450 140 枚	円 565,450 42 枚
計	0	565,450	565,450	565,450	0	565,450 140 枚	565,450 42 枚



預 金 調

(令和 7年 1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行 御前崎中央支店	無利息型 普通預金	0011501	静岡県立池新田高等学校資金 前渡者 名倉 靖之	10,000	職員給与、交際費 資金前渡口座
静岡銀行 御前崎中央支店	無利息型 普通預金	0262655	(自振口) 静岡県立池新田高等 学校資金前渡者 名倉 靖之	0	光熱水費、電話料 等の引落口座
残 高 合 計				10,000	

郵便等受払調

(令和7年1月31日現在)
(単位:枚、円)

区分	種類	令和5年度						令和6年度						摘要				
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高			
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額		
郵便	63円券	0枚	0円	2枚	126円	0枚	0円	0枚	0円	2枚	126円	0枚	0円	0枚	0円	2枚	126円	文書送用
	84円券	0枚	0円	6枚	504円	5枚	420円	1枚	84円	0枚	0円	1枚	84円	0枚	0円	0枚	0円	文書送用
	94円券	3枚	282円	0枚	0円	0枚	0円	3枚	282円	0枚	0円	0枚	0円	0枚	0円	3枚	282円	文書送用
計		3枚	282円	8枚	630円	5枚	420円	4枚	492円	3枚	408円	1枚	84円	0枚	0円	3枚	408円	



歳入歳出外現金調

(令和 5年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 168,610	円 168,610	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	15,707	15,707	0	
所得税	65,317	665,444	329,542	401,219	
区市町村民税	14,700	204,300	219,000	0	
保証金	181,000	0	0	181,000	
計	261,017	1,054,061	732,859	582,219	

歳入歳出外現金調

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 130,231	円 124,243	円 5,988	
教職員互助組合掛金等	0	8,886	8,886	0	
所得税	401,219	438,267	807,012	32,474	
保証金	181,000	0	0	181,000	
計	582,219	577,384	940,141	219,462	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和5年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	74,230,108	74,230,108	0	
項 02 教育委員会費	5,966,597	5,966,597	0	
目 03 教育管理費	5,846,597	5,846,597	0	
08 旅費	7,597	7,597	0	
02 普通旅費	7,597	7,597	0	
10 需用費	2,374,000	2,374,000	0	
01 その他の需用費	2,374,000	2,374,000	0	
12 委託料	2,475,000	2,475,000	0	
14 工事請負費	990,000	990,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 04 中学校費	169,354	169,354	0	
目 01 教職員費	169,354	169,354	0	
03 職員手当等	168,847	168,847	0	
01 その他の職員手当等	168,847	168,847	0	
04 共済費	507	507	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	507	507	0	
項 05 高等学校費	63,428,786	63,428,786	0	
目 01 高等学校総務費	8,940,319	8,940,319	0	
01 報酬	5,720,312	5,720,312	0	
03 非常勤職員報酬	5,720,312	5,720,312	0	
03 職員手当等	565,203	565,203	0	
01 その他の職員手当等	565,203	565,203	0	
04 共済費	1,453,069	1,453,069	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,453,069	1,453,069	0	
08 旅費	1,201,735	1,201,735	0	
01 その他の旅費	812,536	812,536	0	

□□□□□

(令和 5年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 普通旅費	389,199	389,199	0	
目 02 高等学校管理費	54,488,467	54,488,467	0	
01 報酬	1,058,691	1,058,691	0	
03 非常勤職員報酬	1,058,691	1,058,691	0	
04 共済費	857	857	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	857	857	0	
07 報償費	143,500	143,500	0	
01 その他の報償費	143,500	143,500	0	
08 旅費	1,811,302	1,811,302	0	
01 その他の旅費	35,531	35,531	0	
02 普通旅費	1,775,771	1,775,771	0	
09 交際費	0	0	0	
10 需用費	7,808,039	7,808,039	0	
01 その他の需用費	7,808,039	7,808,039	0	
11 役務費	872,611	872,611	0	
12 委託料	407,863	407,863	0	
13 使用料及び賃借料	1,290,504	1,290,504	0	
18 負担金、補助及び交付金	36,783,800	36,783,800	0	
19 扶助費	4,311,300	4,311,300	0	
項 07 特別支援学校費	300,000	300,000	0	
目 02 特別支援学校管理費	300,000	300,000	0	
10 需用費	300,000	300,000	0	
01 その他の需用費	300,000	300,000	0	
項 08 学校教育費	4,365,371	4,365,371	0	
目 01 高校教育費	3,152,018	3,152,018	0	
01 報酬	1,606,366	1,606,366	0	
03 非常勤職員報酬	1,606,366	1,606,366	0	
04 共済費	215,528	215,528	0	

□□□□□

(令和 5年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	0	0	0	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	215,528	215,528	0	
07 報償費	124,500	124,500	0	
01 その他の報償費	124,500	124,500	0	
08 旅費	51,067	51,067	0	
01 その他の旅費	24,942	24,942	0	
02 普通旅費	26,125	26,125	0	
10 需用費	90,000	90,000	0	
01 その他の需用費	90,000	90,000	0	
13 使用料及び賃借料	1,064,557	1,064,557	0	
目 04 健康体育費	1,213,353	1,213,353	0	
01 報酬	672,000	672,000	0	
03 非常勤職員報酬	672,000	672,000	0	
04 共済費	2,042	2,042	0	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	2,042	2,042	0	
07 報償費	36,000	36,000	0	
01 その他の報償費	36,000	36,000	0	
08 旅費	60,935	60,935	0	
01 その他の旅費	60,935	60,935	0	
10 需用費	247,676	247,676	0	
01 その他の需用費	247,676	247,676	0	
11 役務費	194,700	194,700	0	
計	74,230,108	74,230,108	0	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

一般会計

区 分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	71,731,259	58,997,432	12,733,827	
項 02 教育委員会費	2,306,494	579,073	1,727,421	
目 02 教育総務費	241,494	237,413	4,081	
01 報酬	212,494	212,287	207	
03 非常勤職員報酬	212,494	212,287	207	
04 共済費	6,000	3,515	2,485	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	6,000	3,515	2,485	
08 旅費	23,000	21,611	1,389	
01 その他の旅費	23,000	21,611	1,389	
目 03 教育管理費	1,945,000	341,660	1,603,340	
08 旅費	10,000	0	10,000	
02 普通旅費	10,000	0	10,000	
10 需用費	1,935,000	341,660	1,593,340	
01 その他の需用費	1,935,000	341,660	1,593,340	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 04 中学校費	434,000	433,203	797	
目 01 教職員費	434,000	433,203	797	
03 職員手当等	432,000	431,934	66	
01 その他の職員手当等	432,000	431,934	66	
04 共済費	2,000	1,269	731	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,000	1,269	731	
項 05 高等学校費	66,098,063	56,092,529	10,005,534	
目 01 高等学校総務費	11,957,960	10,455,561	1,502,399	
01 報酬	7,892,000	6,929,554	962,446	
03 非常勤職員報酬	7,892,000	6,929,554	962,446	
03 職員手当等	1,881,000	1,880,990	10	

□□□□□

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

一般会計

区 分	令達予算額	支出済額	支出未済額	摘要
	円	円	円	
01 その他の職員手当等	1,881,000	1,880,990	10	
04 共済費	777,000	531,941	245,059	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	777,000	531,941	245,059	
08 旅費	1,407,960	1,113,076	294,884	
01 その他の旅費	1,266,000	971,116	294,884	
02 普通旅費	141,960	141,960	0	
目 02 高等学校管理費	54,140,103	45,636,968	8,503,135	
01 報酬	937,624	138,624	799,000	
03 非常勤職員報酬	937,624	138,624	799,000	
04 共済費	440	440	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	440	440	0	
07 報償費	153,000	72,250	80,750	
01 その他の報償費	153,000	72,250	80,750	
08 旅費	1,761,868	1,520,974	240,894	
01 その他の旅費	30,513	23,272	7,241	
02 普通旅費	1,731,355	1,497,702	233,653	
09 交際費	10,000	10,000	0	
10 需用費	7,940,500	5,124,046	2,816,454	
01 その他の需用費	7,940,500	5,124,046	2,816,454	
11 役務費	1,537,411	853,507	683,904	
12 委託料	801,460	177,050	624,410	
13 使用料及び賃借料	1,034,000	794,077	239,923	
17 備品購入費	138,000	137,500	500	
18 負担金、補助及び交付金	37,010,000	33,992,700	3,017,300	
19 扶助費	2,815,800	2,815,800	0	
項 07 特別支援学校費	45,100	0	45,100	
目 02 特別支援学校管理費	45,100	0	45,100	
12 委託料	45,100	0	45,100	

□□□□□

(令和 6年度)
(令和 7年 1月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
項 08 学校教育費	円 2,847,602	円 1,892,627	円 954,975	
目 01 高校教育費	1,753,435	976,844	776,591	
01 報酬	512,915	336,247	176,668	
03 非常勤職員報酬	512,915	336,247	176,668	
04 共済費	1,520	1,520	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,520	1,520	0	
07 報償費	274,000	165,000	109,000	
01 その他の報償費	274,000	165,000	109,000	
08 旅費	410,230	93,307	316,923	
01 その他の旅費	75,000	18,622	56,378	
02 普通旅費	335,230	74,685	260,545	
10 需用費	174,000	0	174,000	
01 その他の需用費	174,000	0	174,000	
13 使用料及び賃借料	380,770	380,770	0	
目 04 健康体育費	1,094,167	915,783	178,384	
01 報酬	672,000	505,000	167,000	
03 非常勤職員報酬	672,000	505,000	167,000	
04 共済費	2,029	2,029	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,029	2,029	0	
07 報償費	226,800	226,800	0	
01 その他の報償費	226,800	226,800	0	
08 旅費	32,338	23,554	8,784	
01 その他の旅費	32,338	23,554	8,784	
11 役務費	161,000	158,400	2,600	
計	71,731,259	58,997,432	12,733,827	

□□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和4年度	令和5年度	左のうち、令和4年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般会計	11 教育費	02 教育委員会費	03 教育管理費		2,475,000	
	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費		407,863	
計						2,882,863	
(14) 工事費	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費		990,000	
計						990,000	
(16) 公有財産購入費	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費			
計						0	
(17) 備品購入費	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費			
計						0	
(18) 負担金、補助金、及び交付金	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費		36,873,800	
計						36,873,800	
(21) 補償、補填及び賠償金	01 一般会計	11 教育費	05 高等学校費	02 高等学校管理費			0
計							0

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和5年度)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
	(事務事業)		円	円	円	円			円			
1	一般廃棄物 収集運搬処理業務	(株) 3MEN					随契		5.5.25	10,124		
									5.6.23	6,369		
									5.7.25	11,182		
									5.8.25	8,253		
			運搬料	運搬料		運搬料		5.4.6	5.9.25	7,286	一般廃棄物	随契1号
			1回あたり	1回あたり		1回あたり		5.10.25	8,581		の収集運搬	(少額)
			1,760	1,650		1,650		5.11.24	7,629		処理業務	単価契約
			処分料	処分料		処分料		5.12.25	8,877			
			1kgあたり	1kgあたり		1kgあたり		6.3.29	6.1.25	8,628		
			15.6	15.6		15.6		6.2.22	5,885			
								6.3.25	10,745			
								6.4.25	8,350			
								小計		101,909		
2	産業廃棄物 (木くず) 収集運搬処理業務	サンワ環境整備(株)	31,900	31,900	0	31,900	随契		5.7.6		産業廃棄物	
								5.8.18	31,900		(木くず)の	随契1号
								5.8.31			収集運搬処	(少額)
											理業務	
3	掛川菊川地区 県立学校 建築基準法 第12条に基づき 定期点検業務委託	福田一級 建築士事務 所福田光宏	2,651,000	2,475,000	0	2,475,000	一般		5.9.6		掛川菊川地区 県立学校 7校の建築 基準法第12 条に基づき 建築・設備 の定期点検 業務	一般
								5.12.15				
4	産業廃棄物 (木くず) 収集運搬処理業務	サンワ環境整備(株)	38,500	38,500	0	38,500	随契		5.11.17		産業廃棄物	
								5.12.27	38,500		(木くず)の	随契1号
								5.12.27			収集運搬処	(少額)
											理業務	
5	産業廃棄物 収集運搬処理業務	サンワ環境整備(株)	95,700	95,700	0	95,700	随契		6.1.12		産業廃棄物	
								6.2.29	95,700		の収集運搬	随契1号
											処理業務	(少額)
6	廃蛍光管・ 廃水銀灯・ 廃乾電池リ サイクル処理	(株) ホクセイ	39,930	39,930	0	39,930	随契		6.1.23		廃蛍光管・ 廃水銀灯・ 廃乾電池リ サイクル処理	随契1号
								6.3.29				(少額)
7	産業廃棄物 (薬品)収集 運搬処理業務	ジャパン ウエイスト(株)	99,924	99,924	0	99,924	随契		6.1.31		産業廃棄物	
								6.3.29	99,924		(薬品)の収 集運搬処理 業務	随契1号
												(少額)
	事務関係計									2,882,863		
	合計									2,882,863		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	静岡県立掛川 西高等学校外 7校警備業務	総合警備保障 (株)静岡支社	/	円	円	円	/	元.10.1 ～ 6.9.30	/	円	掛川西高等学 校外7校警備 業務	掛川西高等 学校
				8,966,440	0	8,966,440						
参考 2	静岡県立掛川 工業高等学校外 6校自家用 電気工作物保 案管理業務	遠鉄アシスト (株)	/	円	円	円	/	5.4.1 ～ 6.3.31	/	円	掛川工業高等 学校外6校自 家用電気工作 物保安管理業 務	掛川工業 高等学校
				2,550,240	0	2,550,240						
参考 3	静岡県立掛川 東高等学校外 7校消防用設 備保守点検業 務	静岡県消防設 備保守点検業 協同組合	/	円	円	円	/	5.4.1 ～ 6.3.31	/	円	掛川東高等学 校外7校消防 設備等保守点 検業務	掛川東高等 学校
				6,017,000	0	6,017,000						
参考 4	静岡県立横須 賀高等学校外 6校プール浄 化装置保守点 検業務	清化工業(株)	/	円	円	円	/	5.4.5 ～ 5.12.28	/	円	横須賀高等学 校外6校プー ル浄化装置保 守点検業務	横須賀高等 学校
				330,000	0	330,000						
	計	4件	/				/		/			

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金 額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	一般廃棄物 収集運搬 処理業務	(株)3 MEN	運搬料 1回当たり 1,760 処分料 1kg当たり 15.6	円	円	円	円	随契	6.5.31	8,895	一般廃棄物 の収集運搬 処理業務	随契1号 (少額) 単価契約
									6.6.28	10,297		
									6.7.30	8,459		
									6.8.30	8,490		
									6.9.30	8,053		
									6.10.31	8,350		
									6.11.29	10,250		
									6.12.26	9,270		
									7.1.31	9,286		
									小計	81,350		
2	産業廃棄物 搬処理業務	サンワ 環境整備(株)	95,700	円	円	円	円	随契	6.12.16	95,700	産業廃棄物 (管理型混 合廃棄物) の収集運搬 処理	随契1号 (少額)
									7.1.31	小計		
3	産業廃棄物 搬処理業務	サンワ 環境整備(株)	38,500	円	円	円	円	随契	7.1.15		産業廃棄物 (木くず) の収集運搬 処理	随契1号 (少額)
									7.2.28	小計		
4	静岡県立 池新田高 等学校ほ か6校水 泳プール 浄化装置 保守点検 業務	清化工業 (株)	337,700	円	円	円	円	随契	6.4.4		池新田高等 学校ほか6 校の水泳プ ール浄化装 置保守点検 業務	随契1号 (少額)
									6.12.27	小計		
	事務関係 計	4件								177,050		
	合 計	4件								177,050		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金 額	契約金額			契約 締結 方法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
参考 1	静岡県立 掛川西高等 学校外7校警備 業務	総合警 備保障 (株)静 岡支社	/	円 8,966,4 40	円 0	円 8,966,44 0	/	元. 10. 1 ～ 6. 9. 30	/	/	掛川西高等 学校外7校 警備業務	掛川西 高等学 校
参考 2	静岡県立 掛川工業 高等学校外6校自 家用電気 工作物保 安管理業 務	遠鉄ア シスト (株)	/	2,621,5 20	348,76 3	2,970,28 3	/	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	/	/	掛川工業高 等学校外6 校自家用電 気工作物保 安管理業務	掛川工 業高等 学校
参考 3	静岡県立 掛川東高 等学校外 7校消防 用設備等 保守点検 業務	静岡県 消防設 備保守 点検業 協同組 合	/	6,985,0 00	0	6,985,00 0	/	6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	/	/	掛川東高 等学校外7 校消防用設 備等保守点 検業務	掛川東 高等学 校
	計	3件	/				/		/			

□□□□□

負担金支出調

(令和5年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国校長会総会研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項	全国校長会総会研究協議会	円 2,000	5.5.2
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第1期分316名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,306,000	振替日 5.7.31
3	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	日本産業廃棄物処理振興センター	開催要項	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会	13,200	5.9.8
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第2期分315名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,463,800	振替日 5.10.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第2期分3名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△29,700	振替日 5.12.13
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第3期分306名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	12,058,200	振替日 6.1.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第3期分2名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△29,700	振替日 6.3.8
計		7件			36,783,800	

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)
(令和7年1月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催要項	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	4,000	6.4.30
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導委員会	開催要項	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	2,000	6.7.4
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 291名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,632,800	振替日 6.7.31
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 285名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,087,700	振替日 6.10.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 6.11.29
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 284名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	11,216,700	振替日 7.1.31
計		9件			33,992,700	

様式第 19 号

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減 額	計
				円	円	円	円
1	教育管理費	ガス漏れ受信機 電源装置交換工事	御前崎市池新田 地内	990,000	990,000	0	990,000
		合 計	1 件	990,000	990,000	0	990,000
令和 6 年度 工事執行無し							

事 調							
					(令和5年度)		
					(令和6年1月31日現在)		
契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘 要	
随契	セルコ(株)	5.9.27 ~ 6.1.31	円	ガス漏れ受信機 電源装置交換	-	令達年月日 5.9.8 支払年月日 6.2.9 随契1号 (少額)	
			990,000				
			990,000				

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和5年度)

区 分	令和5年3月31日 現 在		増	減	令和6年3月31日 現 在		摘要
	数量又 は面積	台 帳 価 格			数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	千円	千円			千円	千円	
		1,887,772			△47,174	1,840,598	
土地	m ² 42,992.13	1,183,205				m ² 42,992.13	1,183,205
立木竹	本 22	149				本 22	149
建物	m ² <u>6,857.81</u> 13,938.88	648,543			△42,345	m ² <u>6,857.81</u> 13,938.88	606,198
工作物	個 57	55,875			△4,829	個 57	51,046
普通財産		0				0	
土地	m ² 0	0				m ² 0	0
建物	m ² <u>0</u> 0	0				m ² <u>0</u> 0	0
工作物	個 0	0				個 0	0
公有財産に 準ずるもの		238				238	
電話加入権	件 5	238				件 5	238

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

区 分	令和6年3月31日 現 在		増		減		令和7年1月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産		千円 1,840,598		千円		△22		千円 1,840,576	
土地	m ² 42,992.13	1,183,205					m ² 42,992.13	1,183,205	
立木竹	本 22	149			本 1	△22	本 21	127	
建物	m ² <u>6,857.81</u> 13,938.88	606,198					m ² <u>6,857.81</u> 13,938.88	606,198	
工作物	個 57	51,046					個 57	51,046	
普通財産		0						0	
土地	m ² 0	0					m ² 0	0	
建物	m ² 0 0	0					m ² 0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に 準ずるもの		238						238	
電話加入権	件 5	238					件 5	238	

□□□□□

借地借家等調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏名	用 途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校 敷地	御前崎市池新田 2948-1	学校 敷地	学校 敷地	3,550.00	円	無償	自6.4.1 至7.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	体育館 敷地
2	土地	学校 敷地	御前崎市池新田 2927-2	学校 敷地	学校 敷地	680.00		無償	自6.4.1 至7.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	運動場 敷地
3	土地	学校 敷地	御前崎市池新田 2947-2	学校 敷地	学校 敷地	115.00		無償	自6.4.1 至7.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	運動場 敷地
4	土地	学校 敷地	御前崎市池新田 2947-2	学校 敷地	学校 敷地	145.00		無償	自6.4.1 至7.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	弓道場 敷地
5	土地	市道	御前崎市池新田 1555-49	市道	市道	5.40		無償	自R5.2.15 至R10.3.31	御前崎市長	散水用 配管・架 線設置
土地 計						4,495.40					
5	建物	事務 所建	御前崎市池新田 2907-1	重量 鉄骨造	地上 2階建	238.80 475.40		無償	自6.4.1 至9.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	生活館
6	建物	事務 所建	御前崎市池新田 2907-1	重量 鉄骨造	地上 2階建	350.00 562.80		無償	自6.4.1 至9.3.31	一般社団法人 静岡県立池新 田高等学校後 援会	池高会 館
建物 計						588.80 1,038.20					
7	工作物	冷暖 房装 置	御前崎市池新田 2907-1			1個		2,370,431	自3.7.1 至16.6.30	三井住友ファ イナンス&リ ース株式会社	普通教 室空調

8	工作物	雑工 作物	御前崎市池新田 2920-1			1個		無償	自5.5.1 至7.3.31	静岡県立池新 田高等学校P TA	野球用
9	工作物	冷暖 房装 置	御前崎市池新田 2907-1			1個		4,095,355	自6.7.1 至19.6.30	NTT・TC リース(株) 静岡支店	特別教 室空調
工作物 計						3個		6,465,786			

□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和5年度)

区 分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
長期継続 契 約	電子複写 機賃貸借 契約	電子複写機 2 台 (契約日) 平成31年4月1日	2,503,440	円 497,040	円 501,600	円 501,600	円 501,600	円 501,600
長期継続 契 約	カラーイ ンクジェ ット複合 機賃貸借 契約	カラーインクジ ェット複合機 1 台 (契約日) 平成31年4月1日	3,030,480	円 601,680	円 607,200	円 607,200	円 607,200	円 607,200

(令和6年度)

(令和7年1月31日現在)

区 分	事業名又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
長期継続 契 約	電子複写 機賃貸借 契約	電子複写機 2 台 (契約日) 令和6年5月21 日	2,016,080	円 347,600	円 417,120	円 417,120	円 417,120	円 417,120

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	238.80 ^{m²}	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田2907-1 一般社団法人静岡県立 池新田高等学校後援会長	同窓会館兼 生活館敷地
2	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	350.00 ^{m²}	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田2907-1 一般社団法人静岡県立 池新田高等学校後援会長	池高会館 敷地
3	建物	事務所建	御前崎市池新田2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 5階建		6.00 ^{m²}	—	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	御前崎市池新田2907-1 静岡県立池新田高等学校 PTA会長	パン等販売 場所
4	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	9.60 ^{m²}	—	免除	6.7.22 ～ 7.3.31	御前崎市池新田2907-1 静岡県立池新田高等学校 PTA会長	図書業務職 員駐車場
	建物	事務所建	御前崎市池新田2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 4階建		3.30 ^{m²}			6.7.22 ～ 7.3.31		図書業務職 員執務場所
5	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	9.60 ^{m²}	—	免除	3.4.1 ～ 6.3.31	御前崎市池新田2907-1 静岡県立池新田高等学校 PTA会長	進路業務職 員駐車場
	建物	事務所建	御前崎市池新田2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 5階建		3.30 ^{m²}			3.4.1 ～ 6.3.31		進路業務職 員執務場所
6	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	20.83 ^{m²}	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田5585 御前崎市市長	防災倉庫敷 地
7	建物	事務所建	御前崎市池新田2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 5階建		1.00 ^{m²}	—	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	御前崎市池新田2907-1 一般社団法人静岡県立 池新田高等学校後援会長	公衆電話 設置
8	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	0.15 ^{m²}	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田5585 御前崎市市長	カーブミラー 敷地
9	建物	事務所建	御前崎市池新田2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 5階建		0.15 ^{m²}	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田5585 御前崎市市長	防災用無線 機設置
10	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	0.17 ^{m²}	—	免除	3.4.1 ～ 8.3.31	御前崎市池新田5585 御前崎市市長	避難所看板 敷地
11	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	本柱9本 支柱1本 支線10条	1,500	30,000	2.4.1 ～ 7.3.31	掛川市中央1-5-8 中部電力(株)掛川営 業所長	電柱敷地
12	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	本柱3本 支線2条	1,500	7,500	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市葵区城東町5-1 西日本電信電話(株) 静岡支店長	電話柱敷地
13	土地	学校敷地	御前崎市池新田2907-1	学校敷地	学校敷地	0.19 ^{m²}	—	免除	3.4.1 ～ 8.3.31	御前崎市池新田2961-11 早苗町町内会長	防犯灯敷地

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
14	建物	事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 4階建		m ² 816.22	—	—	6.4.1 ～ 9.3.31	掛川市杉谷南1-1-2 静岡県立掛川特別 支援学校長	静岡県立掛 川特別支援 学校御前崎 分校設置
		事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	鉄骨鉄筋コン クリート造 5階建		m ² 22.47	—	—	6.4.1 ～ 9.3.31		
		雑屋 建	御前崎市 池新田 2907-1	軽量鉄骨造 1階建		m ² 333.00	—	—	6.4.1 ～ 9.3.31		
15	建物	事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	重量鉄骨造 2階建		m ² 2.00	—	737,000	4.4.1 ～ 7.3.31	東京都新宿区西新宿 8-17-1 サントリービバレッ ジソリューション (株)	自動販売機 設置
16	建物	事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	重量鉄骨造 2階建		m ² 1.00	—	1,030,700	4.4.1 ～ 7.3.31	浜松市中区高丘北1- 66-10 コカ・コーラボトラ ーズジャパン(株)	自動販売機 設置
17	建物	事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	重量鉄骨造 2階建		m ² 1.00	—	24,200	4.4.1 ～ 7.3.31	島田市阪本835-1 東海ビバレッジサー ビス(株) 島田支店	自動販売機 設置
18	土地	学校敷地	御前崎市 池新田 2907-1	学校敷地	学校敷地	m ² 12.56	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田5585 御前崎市長	非常用ガス発 電システム設 置
	建物	事務所建	御前崎市 池新田 2907-1	重量鉄骨造 2階建		m ² 0.80					
19	土地	学校敷地	御前崎市 池新田 2920-1	学校敷地	学校敷地	m ² 43.20	—	免除	2.4.1 ～ 7.3.31	御前崎市池新田2907-1 静岡県立池新田高等 学校PTA会長	ダッグアウト 敷地
合 計								1,829,400			

備品・図書調

(令和 5年度)

所属 0000220712 県立高校・中学校 池新田高等学校

区分	令和 5年 3月31日 現在	増		減		令和 6年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
01-02 台類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
01-03 いす類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-04 収納保管庫類	81	(0) 0	0	(0) 0	0	81
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-12 寝具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-01 情報処理機器類	172	(3) 3	0	(0) 0	0	175
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220712 県立高校・中学校 池新田高等学校

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
01-02 台類	19	(0) 0	0	(0) 0	0	19
01-03 いす類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-04 収納保管庫類	81	(0) 0	0	(0) 0	0	81
01-05 印刷機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-07 書類整理器具類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-12 寝具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-01 情報処理機器類	175	(1) 1	0	(0) 0	0	176
02-02 情報伝達機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
04-03 看護用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-04 分析化学機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	0	(0) 1	137,500	(0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

所属 0000220712 県立高校・中学校 池新田高等学校

区分	令和 6年 3月31日 ・現在	増		減		令和 7年 1月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
10-06 家庭科用器具類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
10-07 音楽用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
10-12 体育保健用器具類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
10-99 その他の教育用器具類	26	(0) 0	0	(0) 0	0	26
12-01 雑機器	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
50-01 図書	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
計	449	(1) 2	137,500	(0) 0	0	451

□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年1月31日現在)

整理 番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	教師機1台、生徒機42台、サーバ1台 プリンター2台 富士通D588/Bほか	年間(365日) 情報・商業授業用	令和2年1月	5,895,879 ^円
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	教師機1台、生徒機40台、サーバ1台 プリンター2台 富士通D582/Eほか	年間(365日) 情報・商業授業用	平成25年1月	5,670,000
3	03-03	プロジェクター	プロジェクター12台 マクセル MC-AW3005J	年間(365日) 普通教室授業時使用	令和3年3月	2,805,000
4	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式 ネットワークサーバー	毎日(年間365日) 校内LAN用	平成13年3月	2,310,000
5	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	iPad40台、充電保管庫1台 Apple2020モデルほか	年間(365日) 授業時使用	令和3年3月	1,904,109
6	01-01	テーブル	会議テーブル オカムラ 2199ZZ	会議・来客時使用	平成6年3月	937,300
7	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ G5A	音楽授業時使用	昭和61年9月	930,000
8	01-04	移動書庫	スライド書庫 イトーキ ムーブブラック	毎日(年間365日) 文書管理用	平成5年12月	927,000
9	10-05	化学用器具	ドラフトチャンバー 島津CABA-T18	理科授業時使用	平成6年3月	885,800
10	10-99	その他の教育用器具	放射線の特性実験セット DX-SET	理科授業時使用	平成31年1月	772,200
11	10-05	化学用器具	ドラフトチャンバー 島津CABA-T15	理科授業時使用	平成6年3月	751,900
12	01-02	台	実験台(教師用) 3000×900×1050 電源装置付	理科授業時使用	平成6年3月	746,750
13	02-01	その他の情報処理機器	教材用サーバー 校内LANファイルサーバー	毎日(年間365日) 校内LAN用	平成13年3月	745,500
14	02-02	放送装置	放送装置 音声調整卓WL-SA113	授業、学校行事等使用	平成29年2月	637,200
15	01-02	台	台 演台	学校行事等使用	平成5年2月	615,000
16	01-04	たな	書棚 チーク練付	毎日(年間365日) 校長室文書管理用	昭和59年3月	598,000
17	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式	毎日(年間365日) 校内LAN用	平成29年3月	529,308

18	01-07	製本機	丁合機	印刷物作製時使用	平成17年1月	498,750
19	10-05	生物用器具	低温恒温器 日立CRB-32L	理科授業時使用	平成16年2月	493,500
20	01-07	裁断機	裁断機	印刷物作製時使用	平成5年12月	442,900

□□□□□

公務中の事故等に関する調

- 1 現金、財産及び占有動産の亡失・損傷事故
該当なし
- 2 公務災害（通勤災害を含む。）
該当なし
- 3 公務中における交通事故
該当なし
- 4 その他

項目	内容
事案の概要	歓迎会における本務教諭（女性・1名）へのわいせつ行為
事案発生日時	令和6年4月5日（金）～4月6日（土） 午後6時30分から午前0時50分頃 （1）午後8時過ぎ 女性教諭の右太ももを触る。 （2）午後9時過ぎから午後11時30分頃まで 5～6回女性教諭の両手を握る。 （3）午前0時50分頃から午前1時5分頃まで 女性教諭を宿泊先へ送る途中、自身の宿泊先へ誘った。 好意を寄せる言動をした。
経過・対応状況	4月13日 学校で女性教諭と外2名の教諭が校長へ相談 4月15日 本人に聞き取り。女性教諭へ再度、詳細な聞き取り。 4月16日 本人に再度、詳細な聞き取り。 4月15日から17日までの間、校長、養護教諭が女性教諭と面談を行い、精神的ケアに努める。
職員等に対する処分等の状況	令和6年5月23日より停職2月 令和6年7月25日から令和7年3月31日まで観音山少年自然の家に資質向上研修として出張を命じられる。
所属における防止策	県全体で不祥事根絶を推進している中での管理職による不祥事、痛恨の極みである。2度とこのような不祥事を起こさぬよう教育公務員として公務外であっても適切な言動の徹底を図った。具体的には、自分事として捉えることができるような不祥事根絶研修を充実させた。また、校長は、不祥事が及ぼす生徒と学校全体への悪影響について、教職員へ伝えた。

□□□□□

工事中の事故に関する調

1 工事中の事故発生状況

(令和7年1月31日 現在)

区分	第三者事故					工事等の関係者事故				もらい事故	
	件数	死亡	重傷	軽傷	損害のみ	件数	死亡	重症	重症以外	件数	死傷
令和4年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和5年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人
令和6年度	0件	0人	0人	0人	0件	0件	0人	0人	0人	0件	0人

□□□□□

前回の監査結果等改善状況調

1 定期監査

前回監査 令和6年6月10日

前回監査対象期間 令和5年2月1日～令和6年1月31日

区 分	改 善 状 況
1 指 摘 該当なし	
2 注 意 該当なし	
3 意 見 該当なし	
4 指 導 該当なし	

事務事業及び予算の執行実績(別冊)

静岡県立池新田高等学校

郵便番号 437-1612

住 所 御前崎市池新田2907番地の1

電話番号 0537-86-2460

FAX番号 0537-86-7802

□□□□□

職 員 調

(令和7年4月1日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校長	名倉 靖之		□□□	年 月 □□□□	□□□□□
2	副校長	小関 雅和		□□□	□□□□	□□□□□
3	教頭	小澤 昌通	数学	□□□	□□□□	□□□□□
4	事務長	山下 孝弘	事務総括	□□□	□□□□	□□□□□
5	教諭	浅井 義治	理科	□□□	□□□□	□□□□□
6	〃	池住 虹海	国語	□□□	□□□□	□□□□□
7	〃	伊藤 友里	国語	□□□	□□□□	□□□□□
8	〃	植田 達哉	数学	□□□	□□□□	□□□□□
9	〃	梅原 圭二	商業	□□□	□□□□	□□□□□
10	〃	後藤 文香	国語	□□□	□□□□	□□□□□
11	〃	小森 大輝	理科	□□□	□□□□	□□□□□
12	〃	酒井 純一	理科	□□□	□□□□	□□□□□
13	〃	阪本 寛	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□
14	〃	田辺 佳恵	英語	□□□	□□□□	□□□□□
15	〃	新美 健介	英語	□□□	□□□□	□□□□□
16	〃	服部 麗子	英語	□□□	□□□□	□□□□□
17	〃	藤田 賢美	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□
18	〃	藤原 大彰	国語	□□□	□□□□	□□□□□
19	〃	増田 光佑	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
20	教諭	松井 唯喜	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□
21	〃	望月 麻未	家庭	□□□	□□□□	□□□□□
22	〃	森田 和樹	地歴公民	□□□	□□□□	□□□□□
23	〃	柳澤 正人	保健体育	□□□	□□□□	□□□□□
24	〃	山本 浩美	数学	□□□	□□□□	□□□□□
25	〃	山本 純寛	数学	□□□	□□□□	□□□□□
26	養護教諭	山田 真穂	養護	□□□	□□□□	□□□□□
27	実習助手	齋藤 彩美	理科	□□□	□□□□	□□□□□
28	主査	池村 裕子	管財・会計	□□□	□□□□	□□□□□
29	主査	市川 結衣	庶務・給与	□□□	□□□□	□□□□□
30	主任技能員	深谷 尚人	環境整備	□□□	□□□□	
平均年数					2年1月	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	外国語指導講師	ホスマン アリソン	英語	□□□	□□□□	
2	非常勤講師	大内 優子	音楽	□□□	□□□□	□□□□□
3		北村 千砂子	美術	□□□	□□□□	□□□□□
4	〃	佐藤 安彦	社会	□□□	□□□□	□□□□□
5	〃	清水 千穂子	書道	□□□	□□□□	□□□□□
6	〃	堀 保則	商業	□□□	□□□□	□□□□□
7	〃	堀尾 純世	国語	□□□	□□□□	□□□□□
8		増田 日出男	英語	□□□	□□□□	□□□□□
9	〃	宮本 幸雄	情報	□□□	□□□□	□□□□□
10	〃	山川 明子	家庭	□□□	□□□□	□□□□□
11	〃	和田 則子	国語	□□□	□□□□	□□□□□
12	部活動 指導員	丸尾 雅史	部活動	□□□	□□□□	□□□□□
13	非常勤 労務職員	下條 良美	環境整備	□□□	□□□□	□□□□□
14	学校医	小川 貢史	内・眼・耳鼻科	□□□	□□□□	
15	〃	小野澤 守文	内・眼・耳鼻科	□□□	□□□□	
16	学校歯科医	大内 志朗	歯科	□□□	□□□□	
17	学校薬剤師	櫻田 静勝	薬事	□□□	□□□□	
18	健康管理医	阿部 裕和	健康管理	□□□	□□□□	

□□□□□□□

職員の年齢調

(令和7年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	6人	
30歳以上40歳未満	7人	
40歳以上50歳未満	9人	
50歳以上56歳未満	4人	
56歳以上61歳未満	4人	
61歳以上	0人	
計	30人	平均年齢 40.9歳

□□□□□

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 33 人 職員数 33 人
受 診 率	100 %
県平均受診率	100 %

(1) 未受診の理由

(注) 1 前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2 受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってもよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	16人
D 2		要経過観察	9人
D 3		医 療 不 要	8人
区 分 者 計			33人
未区分者数			0人
合 計			33人

(1) 管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 0人
イ 新規採用 0人
ウ 自己都合による未受診 0人
エ その他 () 0人

